#### 第3節 卵形線の定義

卵形線の定義は、卵形線上の一点を求めその軌跡として卵形線が求まる。そのため、 卵形線の定義の図は、卵形線上の一点を求める図と行ってよいであろう。

だから、定義の図には、基本的には、卵形線は見えない。定義の作図法で厳密な点を何点 か求め、それを近似曲線で結ぶということになる。

# 第1項2.3 基本4題作図定理

【作図定理1】.任意の1つの円S1を準円とし,他に1つの焦点S2(S1 S2)と定比が与えられたとき,この卵形線を描くこと。

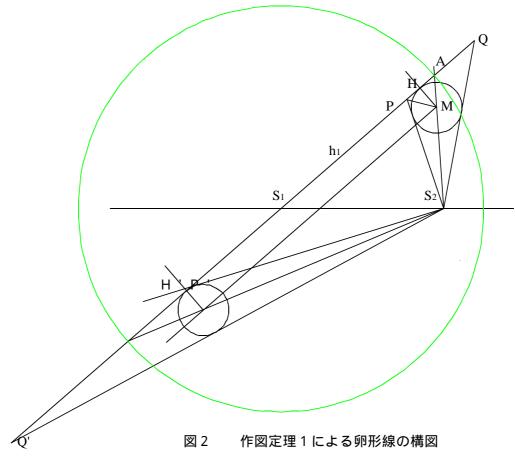


図 2 において,円 S 1 と 1 点 S 2 が与えられている。今,中心 S 1 を通る任意な直線 h 1 と円 S 1 との交点を A とする。A と S 2 を結ぶ直線上に S 2 M: MA = m: n となるように M をとる。次に,M から直線 h 1 を下し,その足を H とする。M を中心とし,MH を半径とする円を描き,S 2 を通り,その円に接する直線 h 1 との交点を P、Q とする。すると、PA:PS2=MA:MS2 になる。( APM=MPS2)。S 1 を中心に h 1 を 1 回転させるとき P , Q は,卵形線を描く。ここで,P ,Q は同じ性質をもつが,P は内分枝を,Q は外分枝を満たすものを表わす。以下の図においても同様である。

ここで、M は、 $S_1S_2$  を n : m に内分する点を中心に持ち、半径  $S_1A(m/(m+n))$  を持つ円周上にあり、 $S_1A$  に平行な半径の端点である。

【作図定理2】. 任意の2つの円を準円として与えられたとき,この卵形線を描くこと。

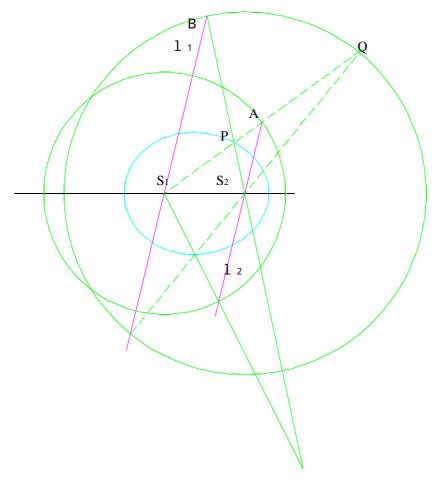


図3 作図定理2による卵形線の構図

図 3 において,円 S 1 と円 S 2 が与えられている。まず,S 1,S 2 を通り,互いに平行な直線 I 1,I 2 を引く. I 1 が円 S 2 と交わる点 B ,I 2 が円 S 1 と交わる点を A とする。このとき,直線 S 1 A と S 2 B の交点 P ,Q は,A あるいは B が,P S 2 上 あるいは P S 1 上をそれぞれ動くとき,卵形線を描く。

【作図定理 3 】. 任意の 1 つの円0を補助円とし,他に 2 つの焦点 $S_1$ , $S_2$ ( $S_1$   $S_2$ )が0と 共線であるように与えられたとき,この卵形線を描くこと。

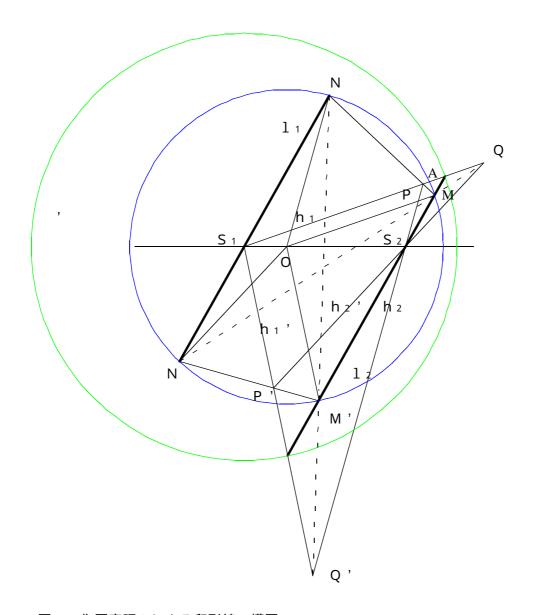
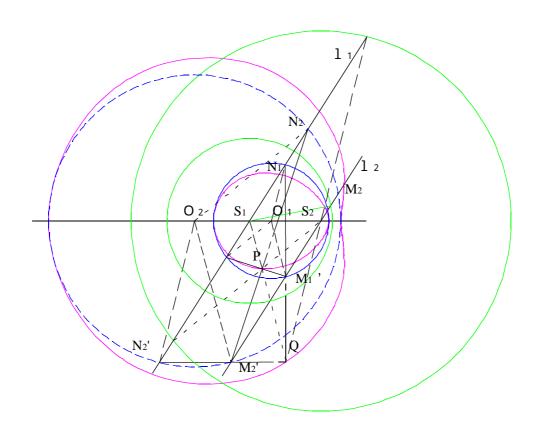


図4 作図定理3による卵形線の構図

図4において,円 O と、その中心線上に任意に二点 S 1,S 2 が与えられている。 まず,S 1、S 2を通り,互いに平行な直線を 1 1,1 2 とする。 1 1,1 2 が円 O と交わる点をそれぞれ N,M とする。次に、ON に平行に S 2を通る直線 S 2 を引く。同様に S 0 に平行に S 1 を通る直線 S 1 を到く。すると,S 1,S 2 を通る直線 S 2 を通る直線 S 2 を引く。同様に S 3 を引いる S 4 の交点 S 6 は,S 8 が円 0 上を動くとき,卵形線を描く。ここで,S 7 の S 8 が共線であることは,パップスの定理より明らか。

【作図定理 4 】. 任意の 2 つの円 $0_1$  , 円 $0_2$  が補助円として与えられたとき , この卵形線を描くこと。



## 図5 作図定理4による卵形線の構図

図 5 において,円 O 1,円 O 2(O 1 O 2)が与えられている。 2 つの円の相似中心 S 1,S 2を求め,S 1,S 2を通り,互いに平行な直線 1 1,1 2を引く。I 1と円 O 1,O 2 が交わる点をそれぞれ I 1,I 1,I 2,I 2 を I 3 は、I 2 を I 3 は、I 3 は I 4 は I 5 は I 6 は I 7 は I 8 は I 8 は I 9

同様に直線 $N_1M_1$  '  $LN_2$  '  $M_2$  ' が垂直に交わる点をQとする。 すると,P,Qは, $N_1$ あるいは $M_1$ が円 $O_1$ 上を動くとき,卵形線を描く。 同様の作図で、直交する点は、もう一対P ',Q ' がある。